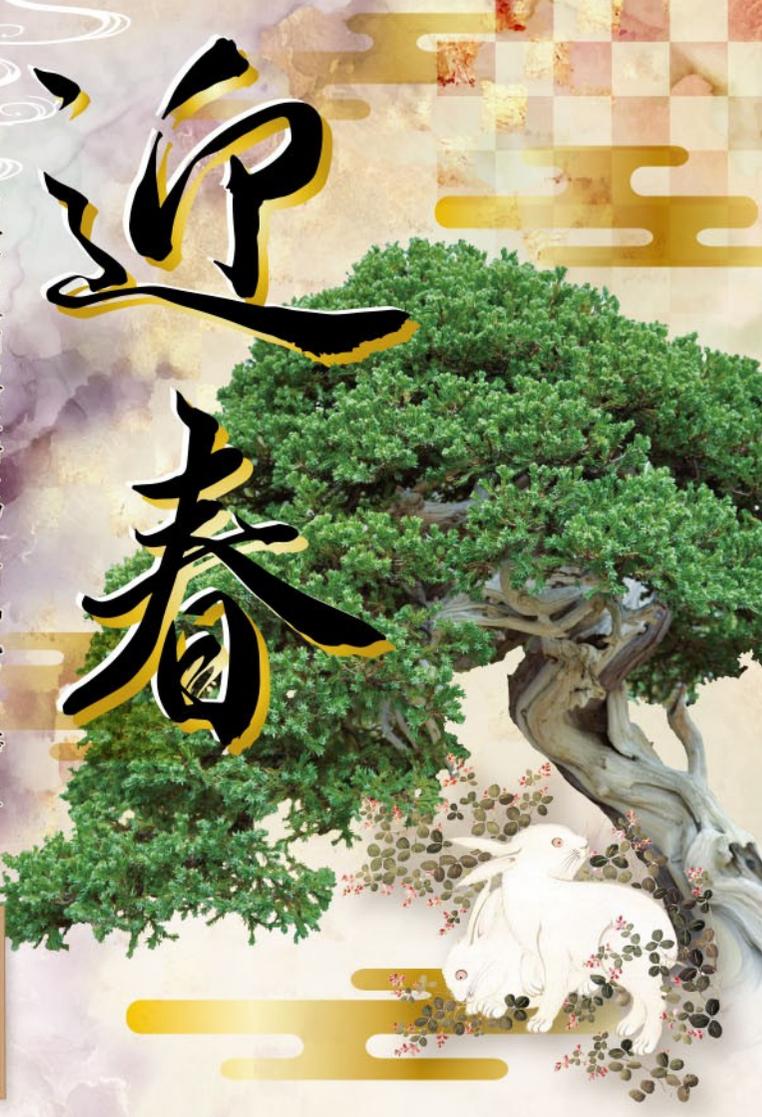




1月号

発行所 ● 社会福祉法人桐栄会
● 青森市浪岡大字樽沢字村元330番7
TEL 0172-62-9201
FAX 0172-62-9019
編集 ● 広報「とうえい」編集委員会



迎春

旧年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます
本年も何卒宜しくお願い申し上げます

令和五年 元旦

和顔愛語

いつも笑顔にかほ明るく
さわやかなサービス提供を
目指したい
社会福祉法人桐栄会



障害者雇用優良事業所
等表彰を受賞しました

昨年九月十二日、青森市のホテル青森で県障害者雇用優良事業所等表彰式典が開催されました。

当法人は、優良事業所として高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞に選ばれ、浪岡事業所の田中所長が出席し、表彰を受けました。

現在、当法人では、七名の障害者を雇用し、主に清掃業務に従事していただいておりますが、皆さん仕事が丁寧で大変感謝しています。これからも障害者の雇用に取り組んで参ります。

本部事務局

苦情解決に係わる 相談処理状況

令和4年4月19日 介護老人保健施設 なみおか

職員からプライバシーについて聞かれ、不愉快になった。職員に指導を徹底して欲しい。(利用者の方ご家族 対応)

ご家族に不快な思いをさせたことを詫言ひることも、情報収集に当たっては、プライバシーに配慮するよう当該職員はもちろんの事、全職員に指導しました。

令和5年7月12日 特別養護老人ホーム つるがさか

シヨート利用者の方の受診のためヘルパーが施設に出向いた際、対応した職員の態度がそつげなく、不快な思いをしたとの報告を受けた。(担当の居宅ケアマネ 対応)

改めてヘルパーの方に謝罪するとともに、職員の対応の仕方について指導を徹底しました。

令和4年8月3日 グループホーム いこい

職員が時間外勤務労働を強制させられたとの投書が藤崎町にあったと聞いた。(職員の担当 対応)

時間外勤務命令に当たっては、時間外勤務の必要性を説明して理解を得るとともに、職員の家庭状況等にも配慮することとしました。

令和4年10月10日 特別養護老人ホーム ゆうゆう荘

シヨート利用者の方が受診した際、主治医からもっと早く受診させるよう指示があった。(連携先の担当者 対応)

今後、利用者の方の状態を見極め、家族と連携して早期受診に努めます。

社会福祉法人 桐栄会の事業

浪岡事業所

【介護保険指定事業】

- 特別養護老人ホーム ゆうゆう荘
- 介護老人福祉施設 短期入所生活介護
- 介護予防短期入所生活介護
- デイサービスセンター 悠悠
- 通所介護
- 介護予防通所介護

浪岡在宅介護支援センター

- 居宅介護支援

【老人福祉事業】

- 浪岡在宅介護支援センター
- 外出支援サービス

【にしやま事業所】

【介護保険指定事業】

- 介護老人保健施設 なみおか
- 併設通所 リハビリテーション

【老人福祉事業】

- 特別養護老人ホーム つるがさか
- 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護
- 介護予防短期入所生活介護

【ケアハウス】

- ケアハウスしずか

常盤事業所

【介護保険指定事業】

- 特別養護老人ホームときわ
- 介護老人福祉施設 短期入所生活介護
- 介護予防短期入所生活介護
- デイサービスセンター みずき
- 通所介護
- 介護予防通所介護
- 在宅介護支援センター あずき
- 居宅介護支援

【老人福祉事業】

- 在宅介護支援センター あずき

【ケアハウス】

- ケアハウスしずか

※「とうえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させて頂いております。

編集後記

我が家には空手を習っている娘が二人います。

試合も近いので、家で練習をしていた時に、長女の上段蹴りが私の顔に入り目の前が真っ白になりました。

へちまよこだった娘の蹴りが、こまごま強烈な蹴りを返すようになつたのかと思ひ成長を感じました。次女の蹴りも何発か蹴られたら、足の感覚がなくなりました。

試合では、二人ともメダルを取って良い結果に終わった良かったです。

今年の全国大会は、福岡と東京で行われるとのこと。今から父ちゃんはお金を節約するので、またみんばて行きたいですね。頑張り娘!!

S・K



何選ぶがなあ～？

11月20日、「コロナ禍ではありますが感染対策に努めながら小規模で1日限定の「駄菓子屋」を開店しました。テーブルの上に駄菓子を並べて利用者の方々に好みの物を選んでもらいました。

迷わず好きな物を選ぶ方もいれば、「どれいはい！どれおいしそうだなあ〜」と悩みながら選ぶ方など様々でした。その後は、お茶を飲みながら自分で選んだ駄菓子を美味しくそつに召し上がっていました。

レクリエーション活動

大人数が一室に集まる事が難しい状況ではありますが、次回も利用者の方々が楽しめる様な事を企画していきたく思います。

K.N

浪岡事業所

だがし屋 開店!

11月20日、だがし屋を開催しました。今回のだがし屋でのみ使えるお金を作り、買い物をする感覚でお菓子をを選んでもらいました。

だがし屋を開くと、皆様のお菓子がずらり、真剣に悩みながら選んでいて、すぐに大盛況になっていました。

また、いもくじや大王くじも人気で、くじの結果に皆「一番」褒められていました。選んだお菓子やジュースは、各々食事テーブルで食べたり、後日まで取っておいて食べたりしていました。

お菓子を召し上がりながら「今度いつやるの?」と話される方もおられ、皆様楽しんでいただけたようです。

「コロナウイルスやインフルエンザが流行してあり、なかなか外出できず、皆様ストレスを発散する機会が少なくなってきたので、少しでも楽しんでほしいと思います。」



K.S

お茶会・誕生会

みんなが楽しみにしているクリスマス会を計画して今年も「コロナウイルスが蔓延し、準備もままならず、お茶会を行いました。」

数種類のケーキとコーヒーやお茶、ジュースなどの飲み物から好きな物を選んでいただきました。

「ケーキおいしいな。」
「あんだ運ばったの?」
等と話されている利用者の方が多く、皆様それぞれの笑顔が見られていました。また、12月生まれの方の誕生会も合わせて行いました。

100歳になられた利用者の方は、数十年前の化粧を楽しみ、金色のちゃんちゃんこを着ると、今年一番のとても良い笑顔を見せて下さいました。

久々に多くの笑顔、笑い声を聞き、利用者の方も職員も和やかなひと時を過ごせました。



K.Y



デイサービスセンター 悠悠

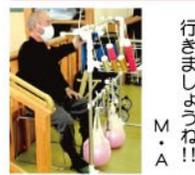
「体操クラブ」始めました!!

余暇活動の一環として、「脳トレクラブ」「体操クラブ」二つの活動を行っています。感染症対策で外出行事が制限され、利用者の方々も私達もこころも向けず、ストレスと運動不足の日々...そこで室内でも楽しめる「体操クラブ」を作りました。

利用者の方々に楽しんで体を動かしてほしいとの思いから、室内用物干しを職員が手作りしてリメイクし、多機能の運動が出来るとの創意工夫しました。

用意されたボールを蹴ったり、三つ編みを編む指のトレーニング、腕を上げて球を移動させる訓練、トイレットペーパーの芯をボールに通していく運動器具。これらも一緒に楽しんで体を動かしていきますね!!

利用者の方々からも大人気で、「今日もやるよー!」楽しいからあめもやってみよう!!」との声が聞かれています。作業療法士からアドバイスをもらい、益々進化していく運動器具。これからも一緒に楽しんで体を動かしていきますね!!



M.A

りんご風呂

デイ悠々では、12月にりんご風呂を行いました。今日からりんご風呂だよ!と声を掛けると、利用者の方々は「わー、それは早く湯っこさ入りてーな。」と楽しみにされています。

浴室に入ると、りんごの良い香りがして、湯舟に浮かぶかかと浮いているりんごを見て、

「わー、さっぱりした!いい湯っこだったじゃ」と声を掛けて頂き、利用者の方々は、温泉気分を味わっています。

次も温泉気分を味わえる様な「湯っこ」を計画しています。

「今日もやるよー!」楽しいからあめもやってみよう!!」との声も聞かれています。皆さん楽しんでいただいていますね。



K.M



楽しみましよう会では「顔がるた」を行いました。

利用者の方一人ひとりの顔をプリントした顔札に紐を付け、ボックスの中から選ばれた名前の方の顔札を釣り竿で釣りに上げるルールで行いましたが、竿のフックがなかなか細に引っ掛からなかったり、対戦相手同士で竿のロープが絡み合ったりして、簡単には釣れませんでした。それでも皆さん諦めずに頑張っていました。

また、自分の顔札を見つけると、釣り上げるまで挑戦し続ける方もおられました。

利用者の方々が恥ずかしそうにならなくても写真撮影に応じてくださりありがとうございました。



取ったと〜!!

デイサービスセンター みぎぎ

楽しみましよう会

10月初旬から1週間、「三三運動会」を行いました。競技の前にはラジオ体操。ただ行っても楽しくないので、そこで方言や外国語バージョンの体操曲を流し行ってみました。表情が変わらず真剣に行っている方も、何しやべってら話もわがわが。と話す方、あんなにいつも津軽弁を使っている方達も、「なにしてやべってらば?」と津軽弁を聞き返す方などいろいろな反応が見られました。

紅組・白組に分かれ頭にはちまきを巻き競技スタート。普段行っているレクリエーションのゲームもよくチーム対抗で競っていますが、はちまきを巻くだけというとは違う雰囲気でも加わっていました。

2〜3種目行った後、最後は運動会の定番「玉入れ」です。最後の競技という事もあって一番盛り上がりを見せていました。

皆さん、勝敗にかかわらず笑顔で運動会を終える事ができて良かったです。と思います。



T.K

秋の三三運動会

ケアハウス しずが

「コロナ禍なので、年縄を一括に製作することはできませんでしたが、年縄を飾るのに合わせて年神様をお迎えし、沢山の幸せを運んでくれますようにお祈りします。」

「年縄」...ここは、神様をお迎えするのにふさわしい神聖な場所です。

「門松」...年神様が降りて来られるための目印。

「鏡餅」...年神様の魂が宿る場所。大小のお餅は、田圃に新しい一年を重ねる、と言われています。



新年を 迎える準備

しめ縄を見ると、もうすべお正月だなくとも誰かを感じてると思います。今年も常盤地区の年縄部会の人達が、大変立派な年縄を作ってきてくれました。

お正月といえば、「年縄」「門松」「鏡餅」ですが、それぞれに意味があるようですよ。

常盤事業所

年賀状作り

グループホーム いこい

グループホームいこいでは、毎年ご本人と一緒にご家族の皆様への年賀状を作成しています。利用者の方の元気な姿を写真撮影し、プリントしたものを年賀状に貼って渡すこと、これわあだか？

「めへせえじゃ」と話しながらもご家族の方を思いながら、皆様色々なメッセージを書かれています。

最後に来年の干支、ウサギのシールで飾り付けをし、完成させていました。

年賀状作成中、家族のことを思い出し涙ぐみ姿にほろこじするご同時に年賀状の大切さを改めて感じました。

S・Y



音楽療法

グループホームでは毎月、1階・2階の利用者の方の交流も兼ねて音楽療法を行っています。

音楽療法といっても皆で季節の歌や懐かしの歌謡曲を歌ってはマラカスやタンバリン、鈴を手に持ちパートに分かれて音を出すのですが...

これらがなかなか難しく歌いながらパート毎に楽器を鳴らすので毎回利用者の方は苦戦していることも。職員が間に入り一緒に歌いますが間違えることも。完璧までとはいきませんがそれなりに上手に揃って皆さんやりきった様な素敵な笑顔を見せてくれます。

最後の締めは昔流行ったという「かごのとり」です。なぜか利用者の方々のほとんどが覚えていて職員が歌いだしの「あいたくさ」と歌うと声を揃えて続く「みださ〜」と皆で歌っては歌詞がなくてもハリのある声で最後まで歌ってくれます。皆さんは「かごのとり」を知っていますか？ 知らない方はぜひ検索してみてください。

N・Y



にしやま事業所

頑張るぞ！ 秋の大運動会

伊賀型通所リハビリテーション

通所リハでは、第二回目となる運動会を開催しました。競技が始まる前は、「今年は何やるんだかな...」、「運動会だっつて?! 何十年ぶりだべ〜」と皆さんフワフワ、ドキドキ...

まず、はじめに相み分けを行い、白組・紅組それぞれメンバーを選出して、ホールへ移動しました。準備運動の為、ラジオ体操で体をほぐし、最後に両チーム代表を決め選手宣誓を行いました。

身体を使うものから、頭を使うものまで様々なゲームを用意しました。その中でも盛り上がった競技を2つ紹介します。

まずは、「バスタオルでポ〜」という種目です。二人一組となり、バスタオルの両端を持ちます。その上にお手玉を5個置き、2人で息を合わせて1・2・3でそれー！と的を目標けて投げます。落ちた玉の合計点数の高い方が勝ちです。



「おめあっち持て〜」、「引っ張れ〜」、「いへ〜」、と皆さんやる気満々。いき投げると手前が玉が落ちたり、はたまた遠くに飛んでいってしまったりと思わぬ展開に歓声が沸き、大盛り況。

次に、「にしやま流 ポッチャ」です。こちらは黒い球を真ん中に置き、各チーム一人ずつ代わる代わるに黒い球を目標して、それぞれ黒い色の玉を5個ずつ投げます。最後に黒い球の一番近くにある色の玉が勝ちです。

「これ、オリンピックのやつだべ〜」

「さっさと飛ばしな〜」と両チームとも声を掛け合いながら集中して楽しんでいました。

優勝したチームにはタオルやおやつ、鏡袋等の賞品の数々が...

普段、見られないような真剣な表情で職員、利用者の方共々、一丸となり終始楽しむことが出来ました。

来年も一緒に体を動かしたり頭を使ったりを盛り込んで、皆さんと楽しみみたいですよ。

M・M

にしやま事業所

2023年も飛躍の年に なりますように

老健 にしやま

今年もやって参りました当施設の恒例の忘年会が開催されました。寒さも吹き飛ばすような熱く楽しかった忘年会。

今回も新型コロナウイルスの関係もあり、1階と2階は合同で行った。それぞれのフロアで開催の挨拶の後にはじゃんけん大会を行いました。段ボールで一生懸命作った「フライチョキ、パー」の札。「ジャンケンポン」の掛け声に合わせて、職員が札を掲げます。それに合わせて利用者の方とジャンケンします。見事職員に勝つと

「わ〜勝ったじゃ〜」と利用者の方はとても喜んでおりました。そして、勝った方にはペットボトルのジュースをプレゼント。残念ながら、あいこや負けた方にも缶ジュースをプレゼント。

次はくじ引きを行い、景品のついた組が下がっており、それを引いてもらいます。「これにしよつかな〜これとんだべ〜」箱を開けてみると、お菓子や飲み物など、皆様の笑顔が戻り、一時の休息〜。午後



酸っぱい物をこの職員が食べたか当てるゲームです。

大縄跳びは掛け声に合わせて、次々職員が中に入り飛びます。職員の皆さん楽しそうにジャンプしていましたが、久しぶりの縄跳び!?で疲れた様子でした。

1階の方の余興では「ナッツのワザ」を入れて、職員に食べてもらい、利用者に当ててもらいました。辛いのをグッとこらえて、辛い物を食べていないふりをするのが利用者の方々も「誰食べたんだべ〜」と面白そうに見守っていました。

そして、おやつは今年も皆さんお待ちかねのスイーツ盛り合わせ。「甘くて美味しいもの」もたくさんありました。

今年も楽しい余興、美味しいご飯とおやつと、満足いただけたのではないのでしょうか。次回も利用者の方々に楽しんでほしいです。また企画を考えていきたいと思っております。2023年も皆様とこっぴ、良い年でありますように。

K

鶴ヶ坂事業所

キッチンで「みそ汁」作り

特産 つるがさか

9月末、ユニットリーダー研修の施設実習として、五戸町の施設で4日間実地研修を受けてきました。

研修先のユニットと自分のユニットを比べた時、キッチンの使用頻度に大きな差があると感じました。食材を切る姿や冷蔵庫から食材を探る姿に、ユニットファにおいて最も重要な「家」の生活を強く感じ、自分のユニットにも取り入れたいと思いました。

まずは、毎週日曜日の昼食時にユニットキッチンを活用し、みそ汁を調理するという計画を立てました。

管理栄養士協力のもと食材を準備してもらい、実際にみそ汁を調理したところ、リビングに香る匂いや職員が調理している姿に利用者の方は興味津々出来たのみそ汁を提供すると「今日の味、いつもより何倍もおいしい」、「この言葉の頂きです。」

今後利用者の方に本当の「家」だと思ってもらえるような取り組みを考え、実施していきたいと思っております。

M・Y



焼きそば会

11月20日に、焼きそば作りを行いました。今回作った焼きそばは、出来上がった麺の上に目玉焼きをのせ、福神漬けをトッピング、秋田県横手市の当地グルメ『横手焼きそば』をイメージして作りました。

普段とは、少し違ったお昼ご飯を楽しんで頂き、利用者の方からは「味も良かったし、おいしかったよ。この感想が聞かれ大好評でした。」

これからも、定期的にこのような行事を立案し、日々の生活に彩りを添えられようと思っております。

そしてまた、ご当地手作りシリーズに挑戦していきたいと思っております。

K・M



網楽会

余興を楽しんでもらいます。そして、お腹も空いて来た頃です。本日のお昼は選択食で牛丼・マクドナルド・中華丼の中から選んでもらいました。汁物には味噌汁のカレー・ラーメンも出てきました。このマクドナルド美味しいなあ肉めーじゅ〜と美味しそうに皆さん笑顔で頬張って召し上がっていました。

昼食を食へ終え、一時の休息〜。午後

は職員による余興です。

2階では大縄跳び。1階では辛い物、

